

NY マーケットレポート (2018年10月24日)

2018年10月24日 (水)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%	外国為替	終値	高値	安値
日経平均	22091.18	+80.40	-2.96%	USD/JPY	112.17	112.74	112.09
ハンセン指数	25249.78	-96.77	-15.61%	EUR/JPY	127.81	129.22	127.77
上海総合	2603.30	+8.47	-21.28%	GBP/JPY	144.52	146.31	144.45
韓国総合	2097.58	-8.52	-14.99%	AUD/JPY	79.21	80.03	79.17
豪ASX200	5829.03	-14.06	-3.89%	NZD/JPY	73.12	73.97	73.11
インドSENSEX	34033.96	+186.73	-0.07%	EUR/USD	1.1394	1.1476	1.1379

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%	コモディティ	終値	前日比	年初来%
英FT100	6962.98	+7.77	-9.43%	NY GOLD	1231.10	-5.70	-5.3%
仏CAC40	4953.09	-14.60	-6.77%	NY 原油	66.82	+0.39	14.5%
独DAX	11191.63	-82.65	-13.36%	CBOTコーン	368.25	-2.00	5.0%
スペインIBX35	8677.40	-48.70	-13.61%	CRB指数	194.47	-0.503	0.3%
イタリアFTSE MIB	18485.46	-317.01	-15.41%	トル指数先物	96.434	+0.473	4.7%
南ア全株指数	50877.34	-291.16	-14.50%	VIX指数	25.23	+4.52	128.5%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%	Crypto Currency	本日	前日
米ダウ平均	24583.42	-608.01	-0.55%	CBOE Bitcoin(先物・期近)	6400	6395
S&P500	2656.10	-84.59	-0.65%	CME Bitcoin(先物・期近)	6410	6385
NASDAQ	7108.40	-329.14	2.97%	Ripple (BSTP)	0.466	0.464
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%	Ethereum (BSTP)	204.49	205.72
トロント総合	14909.13	-376.04	-8.02%	Bitcoin Cash	449.33	448.70
ボルサ指数	45959.04	-489.99	-6.88%			
ボベスパ指数	83063.56	-2236.47	8.72%			

x一部寄定値

10/25 経済指標スケジュール

08:50	【日本】9月企業向けサービス価格指数
08:50	【日本】10月対内外証券投資
15:00	【ノルウェー】8月失業率(AKU)
15:00	【ドイツ】11月GfK消費者信頼感調査
16:00	【スウェーデン】10月消費者信頼感指数
16:00	【スウェーデン】10月景気動向調査
16:30	【スウェーデン】9月生産者物価指数
17:00	【ノルウェー】政策金利発表
17:00	【ドイツ】10月IFO[期待値]
17:30	【香港】9月貿易収支
18:30	【南アフリカ】9月生産者物価指数
19:00	【フランス】3Q求職者数合計
20:00	【トルコ】政策金利発表
20:30	【トルコ】10月景気動向指数
20:30	【トルコ】10月設備稼働率
20:45	【欧州】政策金利発表
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】9月耐久財受注
22:00	【メキシコ】8月小売売上高
23:00	【米国】9月中古住宅販売成約
23:30	【米国】EIA天然ガス貯蔵量
00:00	【米国】10月カンザスシティ連銀製造業活動指数

日本国債利回り		
2年債	-0.113%	-0.111%
5年債	-0.063%	-0.055%
10年債	0.135%	0.152%
30年債	0.896%	0.919%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	0.396%	0.409%
英国10年債	1.457%	1.469%
フランス10年債	0.770%	0.790%
米国債利回り		
2年債	2.831%	2.895%
3年債	2.883%	2.952%
5年債	2.940%	3.012%
7年債	3.027%	3.098%
10年債	3.103%	3.168%
30年債	3.330%	3.368%

10/25 主要会議・講演・その他予定

- ・ドラギECB総裁 定例会見
- ・クリーブランド連銀総裁 講演
- ・クラリダFRB副議長 講演
- ・米7年債入札

NY 市場レポート

◀ NY 市場概況 ▶

NY 市場では、序盤に発表された米新築住宅販売件数が市場予想を下回ったことに加え、米主要株価が下落したことから、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。さらに、米地区連銀経済報告で、貿易摩擦の影響が広がっていることが指摘されたことなどを受けて、投資家心理がさらに冷え込み、ドル円・クロス円は下げ幅を拡大した。米株式市場では、ダウ平均と S&P500 が年初来でマイナスとなり、ナスダックは 2011 年 8 月以来の下落率。

主要な米経済指標結果

9 月新築住宅販売件数 55.3 万件（予想 62.5 万件・前回 62.9 万件⇒58.5 万件）

9 月新築住宅販売件数（前月比） -5.5%（予想 -0.6%・前回 3.5%⇒-3.0%）

9 月の米新築住宅販売件数は、市場予想を下回る前月比-5.5%となり、2016 年 12 月以来の低水準となった。前年比では-13.2%となった。市場の住宅在庫は+2.8%の 32.7 万件となり、2009 年 1 月以来の高水準、販売に対する在庫率は 7.1 ヶ月と 2011 年 3 月以来の高水準で、適正水準とされる 6.0 ヶ月を上回った。地域別では、北東部が-40.6%、西部が-12.0%、南部が-1.5%、中西部は+6.9%となった。販売物件の中間価格は、前月比+0.3%の 32.0 万ドル。平均価格は前月比-1.9%の 37.7 万ドルだった。



出所：Bloomberg

要人発言

メスター・クリーブランド連銀総裁

- ・失業率とインフレ率の関係を示すフィリップス曲線はフラット化しているが、傾斜は回復し得る
- ・労働市場は当初思われていたほど逼迫していなかったが、われわれはまだ完全雇用を上回っている
- ・インフレ期待は非常に安定している
- ・物価を再び安定させるために措置が講じられるに違いないと思われていた
- ・フィリップス曲線が平坦なのはこの物価の安定のためだ
- ・フィリップス曲線は時間の経過と共に動き得る
- ・われわれは、完全雇用と物価安定というわれわれの2つの目標の政策のバランスを取ろうとしている

ボスティック・アトランタ連銀総裁

- ・経済はかなり順調に推移しているようだ
- ・下向きの面では、貿易政策がリスクであり、不確実性をもたらしている
- ・ルールが変わって透明性が一部欠如している

カプラン・ダラス連銀総裁

- ・私はこれまで、金融当局はFF金利を『中立スタンス』の域に達するまで漸進的にまた辛抱強く引き上げるべきだと主張してきた
- ・私が勤める2019年の金利予測も、他のFOMC参加者が考える3-3.25%の予想中央レンジをやや下回る
- ・19年半ばまでに2.5-2.75%のレンジとなれば良い、2.75-3%のレンジがより確率が高い
- ・19年春か夏に、その時の経済見通しに基づいてその判断を下す考えだ
- ・私としては、変動が大きく短期的な一時的要因の影響をあまり重視しない中立金利の尺度に焦点を当てたい

米地区連銀景況報告（ページブック）

- ・ 経済活動は全米で拡大し、ほとんどの地区が緩慢ないし緩やかな拡大を報告した
- ・ ニューヨークとセントルイス地区は小幅な伸びを示した
- ・ ダラス地区は活発な製造業、小売業と非金融サービス業によって堅固な伸びを見せた
- ・ 製造業者は緩やかな生産量の伸びを報告した。ただ、いくつかの地区で企業が資材と輸送コストの上昇や貿易環境を巡る不透明さ、有資格の人材不足に直面している
- ・ 労働力不足が幅広く見られ、賃金上昇や経済成長の抑制に結びついた
- ・ 商業用と住宅用不動産はまちまちだった
- ・ いくつかの地区では住宅価格が上昇し、在庫も少なかった
- ・ 全体的に、消費支出は緩慢に伸び、消費物価は緩慢から緩やかに伸びた
- ・ 旅行業と観光業は、ハリケーン「フローレンス」の影響を受けたノースカロライナとサウスカロライナを除き、総じて上向いた
- ・ 雇用はほとんどの地区で緩慢から緩やかに伸びた
- ・ サンフランシスコ地区は強い伸びを報告した一方、3地区は全くかほぼ変わらなかった
- ・ 企業は全国において働き手不足と有資格の人材不足を報告した
- ・ 高度熟練なエンジニア、金融・販売の専門員、建設・製造業の労働者、IT 専門家やトラック運転手が引き続き不足している
- ・ 大半の企業は高まる転職率と人材の維持が厳しいと表明した
- ・ 賃金は緩慢か緩やかに伸びた。ダラス地区は力強く伸びた
- ・ ほとんどの地区は今後 6 ヶ月で労働需要の緩慢な増加を予想し、賃金は緩慢から緩やかな伸びを見込んでいる
- ・ 物価は全地区において、引き続き緩慢ないし緩やかに拡大した
- ・ 製造業者は関税による金属など原材料価格のコストにより、必要に迫られて完成品の価格を引き上げていると報告した
- ・ 建設契約価格は高まる人件費と資材費をまかなうため上昇した
- ・ いくつかの地区で小売業者と卸売業者が販売価格を引き上げた
- ・ 輸送コスト高騰のためと、関税の影響で今後増える費用への懸念からだ
- ・ 複数の地区は石油価格と燃料費の上昇を表明、農産物価格の動きはまちまちと報告した

米主要株価は軒並み大幅下落

米株式市場は、9月の米新築住宅販売数が市場予想を下回ったことで米経済の先行き不透明感が強まったことから、主要株価は軟調な動きとなった。さらに、ページブックで原材料コストの増加など貿易摩擦の影響が広がっていることが指摘されたことで、投資家心理が一段と冷え込み、主要株価は下げ幅を拡大した。ダウ平均株価は、航空機大手の業績見通しが上方修正されたことが好感され、序盤は一時前日比114ドル高まで上昇した。その後は、下落に転じて下げ幅を拡大し、3営業日続落となった。一方、ハイテク株中心のナスダックやS&P500も大幅下落となり、6営業日続落となった。



出所：Bloomberg

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	テクノロジー	-3.78%	1	ユナイテッドT	-6.11%
2	素材	-3.66%	2	キャタピラー	-5.88%
3	金融	-3.04%	3	マイクロソフト	-5.35%
4	石油・ガス	-2.80%	4	ウォルトディズニー	-5.29%
5	ヘルスケア	-2.53%	5	インテル	-4.67%

出所：データを基にSBILMが作成

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容について

は万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。
本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。